

君の未来を考えるセミナー

第37回
11/20
金
19:30~21:00
無料 オンライン

「新しい職業」を知り将来の選択肢を広げる

東進で憧れの志望校合格を果たした多くの先輩たちの共通項――それは、将来について考え、漠然とした自分の夢を「志」へと高めていたことです。自分や社会の未来を考えながら、「将来こんなことを成し遂げたい」という具体的な将来像を持つことで、そこから「こんなことを学びたい」「この大学 / 学部に行きたい」という気持ちが高まり、努力を続ける原動力となります。

君の未来を考えるセミナーは、デジタル時代を生きていく中で今までになかった価値を生み出している先生の特別講義。デジタル技術進歩を担う仕事、進化する技術を駆使して世界を豊かにする仕事、デジタル技術の発展で新たに生まれる課題を解決する仕事……。新分野を切り拓く先生方の知見に触れ、「自分の生きる未来はどうなるか？」「将来どうありたいのか？」、そして「何のために勉強するのか？」、そんな疑問の答えを見つけに行きましょう！

第37回



講演タイトル

医師×AI×起業 ―自分の「やりたい」が未来をつくる

～医療と情報科学の融合が拓く、新しい未来～

現役医師・救急専門医
大阪急性期・総合医療センター救急診療科診療主任
情報経営イノベーション専門職大学教授
株式会社 fcuro 代表取締役 CEO

おかだ なおき
岡田 直己 先生

お申し込みはこちら

実施概要

対　象 ▸ 高3生・高2生・高1生・高0生※とそのご父母
受講料 ▸ 無料招待
受講方法 ▸ Zoom にてオンラインリアルタイム開催

皆さんからの質問にもお答えします!!

※高0生：高校生レベルの学力を持った中学生









東進ハイスクール　東進衛星予備校　WASEDAJUKU 早稲田塾

講演タイトル

医師×AI× 起業ー自分の「やりたい」が未来をつくる
～医療と情報科学の融合が拓く、新しい未来～

先生からのメッセージ

皆さんは、将来どんな仕事をしたいですか？私は現在、救急医として命の最前線に立ちながら、AIの研究開発や会社経営にも携わっています。

東京大学を中退し、慶應義塾大学医学部を経て医師となった私が、なぜAIの世界へ飛び込んだのか。そのきっかけは、幼馴染との温泉での何気ない会話でした。「食事の写真からカロリーを計算する技術を開発している」という話を聞き、「それなら黒白写真の CT 画像から異常を発見するなんて簡単にできるのでは？」とひらめいたのです。

「やってみよう。」その一言から、独学でのプログラミング、試行錯誤、未踏事業への採択を経て、読影支援 AI『ERATS』の開発、そして起業へと挑戦が広がりました。

私が目指すのは、最先端の技術をつくること自体ではなく、医療現場に本当に役立つ技術を届け、「防ぎ得た死」のない世界を実現することです。書籍の出版を通じて AI 活用の知識を広め、将来は AI と医療従事者が協働する病院づくりにも挑戦したいと考えています。

振り返れば、最初から今の未来を思い描いていたわけではありません。仲間と挑戦を重ねる中で、新しい道が開けてきました。

“Who I'm meant to be, this is me.”

自分らしさを大切に、可能性を決めつけず、失敗を恐れずに挑戦してほしい。大切なのは、「何になりたいか」だけでなく、「何を実現したいか」を考えること。未来は、自分の「やってみよう」から始まります。

▶ 講義後は、皆さんからの質問にも答えていきます。



現役医師・救急専門医
大阪急性期・総合医療センター救急診療科診療主任
情報経営イノベーション専門職大学教授
株式会社 fcuro 代表取締役 CEO

岡田 直己（おかだ なおき）先生

奈良県私立東大寺学園高校卒。2017 年慶應義塾大学医学部卒業。救急科専門医・外科専門医。京都大学にて博士（情報学）取得。現在、大阪急性期・総合医療センター救急診療科診療主任、情報経営イノベーション専門職大学教授、株式会社 fcuro 代表取締役 CEO を務める。臨床医として診療に従事する傍ら、医療 AI の研究開発・社会実装を推進。2020 年に政府認定 AI エンジニアに認定され、未踏アドバンスト事業イノベータに採択。AMED、NEDO、総務省等の事業で研究代表者を歴任。開発した AI は 2025 年大阪・関西万博でも展示された。2026 年には fcuro が大学発ベンチャー表彰特別賞を受賞。医療と情報科学の専門性を融合し、「Preventable Trauma Death（防ぎ得た外傷死）」の撲滅を目指している。

君の未来を考えるセミナー
これまでの参加者の声

職業をはじめいろいろな変化が起きることをとても大変そうだと感じていたが、今回のセミナーを受講して前向きに思えた。
Q 東京都 高2生

論文の中で感じ方を微分方程式に落とし込んだところや、立場により評価が異なる話をしてくれたところが、探究の参考にもなるなと印象的に感じました。
Q 徳島県 高3生

鉄道の混雑具合などにも数学が使われていることが面白く、人間の心理と数学の関係性もとても興味深かったです。
Q 福井県 高2生の保護者

エンジニア＝数学や理科に特化ではなく、順序立てて思考するうえで全ての科目が必要ということを学びました。
Q 奈良県 高3生

目的や意義を明確にすることで、やるべき手段が見えてくる事を学んだ。
Q 神奈川県 高1生

セミナーで先生のお話を聞いて、少しでも興味を持ったことには失敗を恐れずに挑戦してみようと思うようになりました。
Q 群馬県 高1生